

市民運動と連携したねばり強い

取組みで実現ー日本共産党

狛江市の来年度予算案には、日本共産党市議団が市民とともに長年求め続けてきた難聴者への補聴器購入費助成や学校給食費無償化の継続、また中学生の医療費助成制度の所得制限撤廃なども盛りこまれており、これは評価できるものです。

難聴者への補聴器購入費助成は1件4万円を助成し25件分が予算化されています。今後準備し秋頃には実施される見込みです。

難聴者への補聴器助成について日本共産党市議団は、党都議団と連携し一貫して求め今

難聴者への補聴器助成

1件4万円助成、秋頃実施見込み



中学生の医療費助成

所得制限撤廃で助成対象620人増

中学生の医療費助成の所得制限撤廃で助成対象者は、1307人から51927人へと620人増えます。

狛江市では矢野市政時代に他市に先駆けて乳幼児医療費助成の所得制限を撤廃しました(2005年10月)小学校就学前の所得制限撤廃完了)が、日本共産党はその後「小学



日本共産党狛江市議団の見解を紹介します。

日本共産党狛江市議団ニュース

2024年3月26日 第1096号
発行 日本共産党狛江市議団
和泉本町1-1-5 Tel.3430-1177